

生活協同組合あいコープみやざき 検査結果



Wa!わあ祭りまであともう少しです。..  
今回は会場団をご紹介します!!

今年見どころは「なんといっても生産者同士の  
「コラボレーション」です。今年のテーマである  
「あいコープ」公会堂で響かせたい!  
みんなの力で一歩ずつ  
にぴったりの企画ばかりです。

オープニングには  
名取市のゆりあげ太鼓  
をお呼びして、会場  
をもり上げますので  
お楽しみに…!!

くわいは Wa!わあ  
祭りキラシをご覧下  
さい。

(Wa!わあ祭り実行委員長  
理事 高崎 かおり)

『発行生活協同組合あいコープみやざき検査結果  
〒981-8651 仙台市若林区白の3丁目4番17号  
TEL: 022-284-7241 FAX: 022-284-9973  
http://www.mamma.coop』

## 2011年産新米放射能検査 不検出!

放射性セシウム・ヨウ素は、両产地の玄米・白米ともに全品目で『検出せず』でした。

検体数: 大郷みどり会5箇所(6検体)、追NF自然村2箇所(3検体)

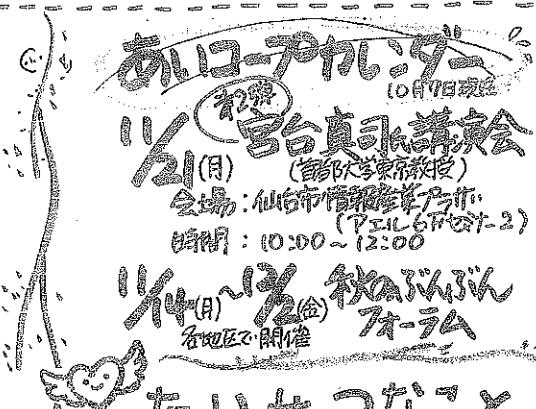
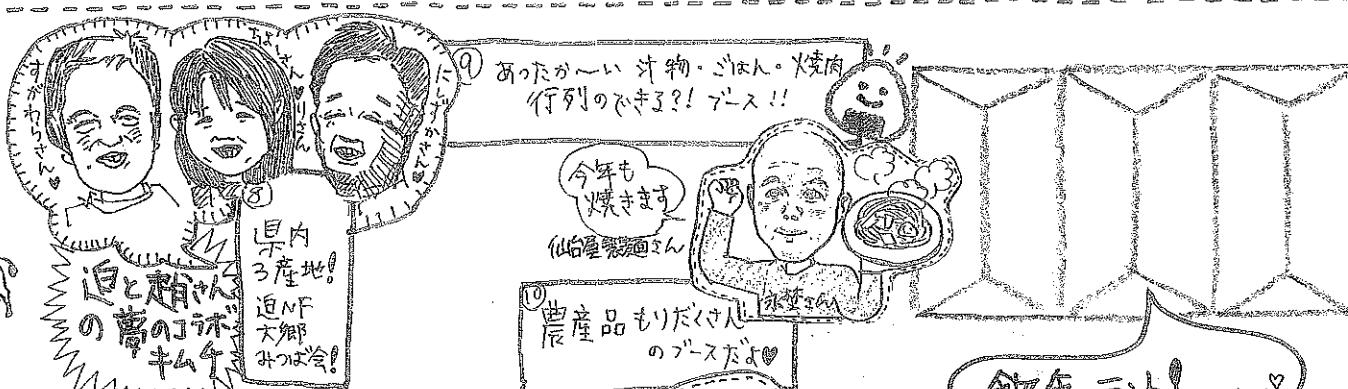
検査日: 9月28日 検査機関: 日本冷凍食品検査協会 検出限界値: 10Bq/kg

(8~9月に行なった両产地の「稻体検査」でも、すべて『検出せず』でした。)

10月2回は大郷みどり会の新米、10月3回は追ナチュラルファーム自然村の新米と、企画が続きますが、どうぞ安心してご利用ください。

あいコープは生産者とともに検査を徹底し、今後も検査結果をお知らせしていきます。

※詳細はホームページで、あいコープで検索してね!



11月1日㈯秋の祭り  
各地区で開催 オーブン

たいせつなこと

本の都の市民環境教育・学習  
推進会議(FEEL Sendai)  
の環境社会実験・未来プロジェクト  
in仙台の委託事業先に、  
石けん環境委員会が選ばれ  
ました。

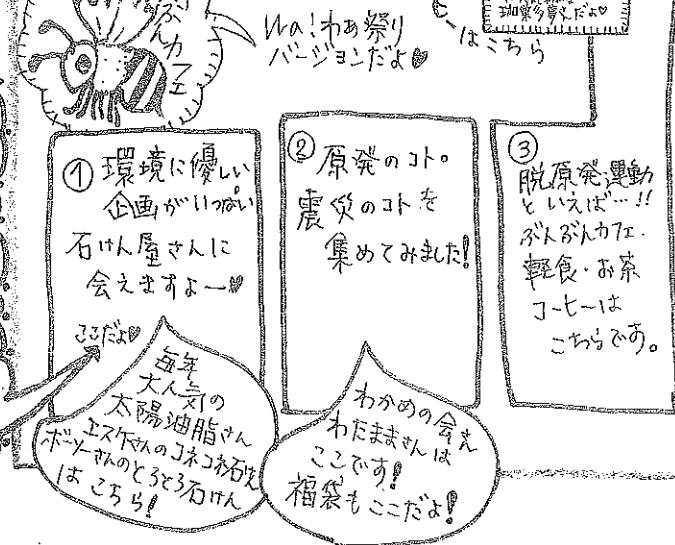
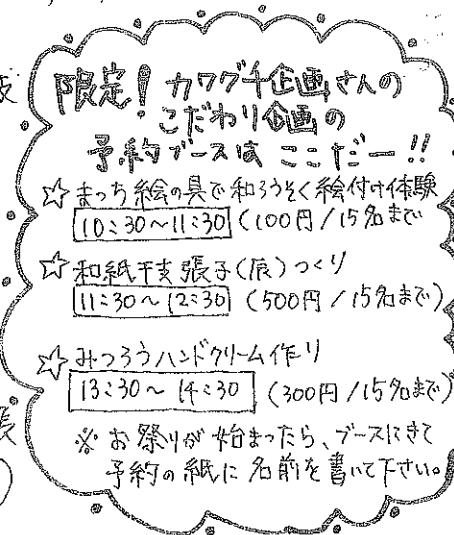
今年の特別テーマは「震災と環境」  
です。震災後に取り組んだ石けん  
活動を発表したところ、「広く  
仙台市民に石けんを使ってほしい」  
という理由で、選ばされました。  
これをうけ、委員会では下記の  
企画を考え、市民に石けんの良さ  
をアピールします。

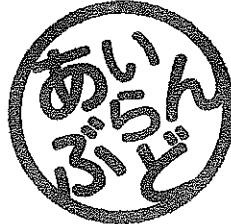
11月15日(火) 10:00~12:00  
会場: エルパーク仙台大研修室  
太陽油脂株会食社

長谷川治さん講演会  
「見直そう!ライフスタイル」

11月24日(木) 10:00~12:00  
会場: エルパーク仙台食のアトリエ  
講師: 高山奇かおりさん  
「石けん製品でエコフレーニング」

12月1日(木) 10:00~12:00  
会場: エルパーク仙台食のアトリエ  
講師: 高山奇かおりさん  
「見直そう!ライフスタイル  
～石けんで海川、街を美しく～」





## 新米でいいごはん！



～秋のぶんぶんフォーラムが開催されます～

食欲の秋、いいごはんがより美味しい季節がやってきました。11月14日(月)～12月2日(金)の期間に各地区にて、「新米でいいごはん！」秋のぶんぶんフォーラムが開催されます。今後の全体チラシや地区ニュースは見逃せません。楽しく笑って、食べて、免疫力 UP の料理教室が展開されますので、お友達お説明の上奮ってご参加ください。新米はもちろん、旬の食材を使った和食(郷土料理)をテーマにしています。今、見直されている「日本型食生活」にスポットをあてて、発酵食品を上手く取り入れながら、美味しく新米を頂きましょう。

今回のフォーラムではあいぶらんどのお米がメインとなります。あいコープの新米の特徴を詳しく紹介致します。ネオニコチノイド系の農薬を使用しないお米になります。この神経毒の農薬によって、みつばちがいなくなるなど生態系が脅かされていると言われています。稻刈りの時期にイナゴが見つからないのは、おかしいと思いませんか？あいコープのお米は、この農薬を使用しないで栽培されています。ネオニコチノイド系農薬を使わない田んぼには、カメムシ被害の痕が残った斑点米が見られます。一緒に斑点米を試食してみませんか。斑点米が出来る安心感を実感する機会にもなるはずです。

また、皆さんのが一番心配な放射能汚染。あいコープみやぎは生産者の「水田の土壤検査」「稻体検査」を行った上で、最終的には商品になる「玄米」や「白米」の残留放射能検査を行い、「検出せず」と確認されているので安心です。私たちは地産地消を進めることができると考えます。顔の見える生産者を支えるためにもお米やお野菜を沢山食べて利用拡大ていきたいと思います。秋のフォーラムでは、多くの参加された方々の納得、充実した時間が過ごせることと思います。

あいぶらんど運動推進委員会担当理事 高橋 千佳

### ～六ヶ所東日本サミット緊急企画～

#### ◆講演会 原発のない社会へ！ 踏み出そう東北～福島、六ヶ所を語る◆

10月2日、広河隆一氏と永田文夫氏講演会に参加しました。広河さんは、1988年 DAYS JAPAN を創刊し大手メディアでは絶対に伝えられない核の実態をテーマに、六ヶ所などを取り上げていました。講演会では、ウインズケール、スリーマイル、チェルノブイリ、六ヶ所と現場を訪ねた経験と福島原発事故について話されました。チェルノブイリ事故では、30km圏内の子どもと女性を優先して避難をさせ、120km離れたキエフでも早めの夏休みにして、十分に離れた保養地へ学校ごと避難させたそうです。しかし、日本では、そのような措置は取られませんでした。私たちは、生きる権利を守るために国に必要な措置を求めると共に、自分達でこどもたちを守る行動をしなければなりません。

「自分たちで放射線測定し、基準値以下か以上かではなく、数値（ベクレル）自体を公表することが大切です。」との話は、あいコープで行っている放射能自主測定そのものです。ますますあいコープで暮らそうと思いました。今、私たちは何をすべきなのか。みなさん一緒に活動しましょう。 理事 鈴木智子

## 生産者つうしん！！

大震災後、あいコープみやぎの生産者のみなさんは、どんな被害が「あり、どんなご苦労があったのでしょうか？」。組合員のわれわれは、生産者のみなさんのこれから復興復旧に向けて皆の力を合わせて買いまさりましょう。

父の後ろ姿を見ながら修業中です。

柴田町 (株)青木商店

私は、山梨県忍野村の豆腐工場で半年間の研修を終え、実家に戻って間もなくして震災に遭いました。震災直後は、数日間被災地はどこも、連絡や立ち入ることもままならない状態になっていたので、もし研修期間中に実家に戻っていましたら…と考えるとぞっとします。

青木商店では建物や機械の破損はあったものの、大きな被害はなく、また休業日で工場に人がいなかったため、幸いにして被害も抑えられました。震災後は、地区の方々や近隣町に豆腐を供給することができ、焼き出しなどの活動に参画しました。そこで本当に喜んで頂けた事に、「人のために役に立った」という実感が湧き、私自身感動させられました。今後もこの気持ちを忘れずに、美味しいもの、喜んで頂けるものを作りたいと思います。

(株)青木商店 四代目 青木純 27才



—もめん豆腐



青木 純さん

#### 10/1(土) 高橋徳治商店の「火入れ式」がありました！！



高橋英雄社長(右から2人目)と  
社員の皆さん

(10月1日、震災から20日ぶりにマレト本社工場の生産ラインに火が入りました。揚げ物ラインを流れしていくのは、「お豆腐揚げ」。その場でいたいたい出来立ては、本当に美味しいのです。思いやせば、4月にヘドロとかれで埋めた工場の状況を見た時は突然と立ち尽くしました。それを見れば、この日のきれいになった工場は本当に夢のようです。推定40トンのヘドロを全て手で掻き出したことです。社長が「万歳を込めて「よきをここまで」と挨拶された姿に大きくうなずきました。しかし「ここまで」ではない、「ここから」なのです。まだまた続く復興への道程をマレトさんと共に歩んでいきたいと思います。

専務理事 多々良 哲